

地理教育におけるシティズンシップ教育の実践

－多文化主義に基づく持続的な発展－

愛知県立美和高等学校
教諭 吉原 正記

1 はじめに

1980年代以降、欧米諸国では、深刻な不況によって若年失業者が増加し、将来への展望を失った者たちの暴力や社会的無関心が重大な問題として認識されるようになった。これとともに、将来を担う世代に社会的責任、法の遵守、地域やより広い社会とかかわることの重要性を教えなくては民主主義社会の将来はないといった危機感が広がっていった。こうした中、イギリスでは2002年に「社会に積極的に参加する責任と良識ある市民を育てること」を目標として、中等教育段階においてシティズンシップ（教育）が必修科目となった。

一方、日本では、財政赤字が深刻化する中で、国民にできることは国民がするという「小さな政府」へと移行する動きが見られるようになった。今後は、国民一人一人に対し、積極的な社会参画が求められるであろう。こうした流れの中で、社会参画の意識を高めることをはじめとして、シティズンシップ教育にかけられる期待は、ますます大きくなるものと思われる。

では、シティズンシップ教育の中で、地理教育がどのような役割を果たすことができるかという点、地理教育では地域を多面的に取り扱うために、防災や多文化共生を念頭に置いた「まちづくり」の提案など、具体的かつ主体的な社会参画の機会が得やすい。そのために、身近な地域の問題を通して生徒にシティズンシップが求める能力を身に付けさせることができる。地理教育は、まさにシティズンシップ育成の宝庫であると言える。

2 研究のねらい

生徒の身の回りにはたくさんの外国製品があふれ、外国人と接する機会も増えている。特に日系人の入国審査手続きが改正された1990年頃から日系人を中心に外国人が増加しており、また、インドネシアとの間で2007年に締結された経済連携協定（EPA）に基づいて、平成20年度から一定の条件の下でインドネシア人の看護師・介護福祉士候補者の受入れが始まっている。

このように外国人が身近な存在となる一方で、双方の文化等に関する知識の乏しさを理由とした様々な問題が生じていることも確かである。そこで、シティズンシップ教育を通して、生徒の中に多文化共生社会の形成に向けての意識を育成していくことが急務であると認識し、表題の研究に取り組むことを考えた。

本研究では、まず、多民族国家であるオーストラリアやシンガポールにおける多文化共生政策の取組を考察する。そして、両国の取組を参考にしながら、異なる文化・習慣・宗教をもつ架空の3つの民族を基に、共生の在り方を考えさせる。以上のことを踏まえて、多文化共生を身近な課題として、また多文化共生は「持続可能な社会」には欠かすことができないテーマとして理解させることをねらいとした。

3 研究の内容

(1) 単元

多文化主義に基づく持続的な発展

(2) 単元の目標

オーストラリア、シンガポールの事例により多文化共生の在り方を学ぶとともに、話し合いなど主体的な活動を通して、多文化共生の望ましい在り方を考察する。

(3) 単元の評価計画

評価の場面	能力	評価の観点	評価規準	評価方法
評価 1	【意識】 他者とのかかわりに関する意識	関心・意欲 ・態度	・外国人との共生について前向きな姿勢で考えることができる。	ワークシート No. 1 - 3
評価 2	【知識】 オーストラリアの多文化共生策	知識・理解	・オーストラリアでは、多文化共生策として、移民に必要な情報を提供するために移民の母国語による放送が必要であることを理解することができる。	ワークシート No. 2 - 5
評価 3	【知識】 シンガポールの多文化共生策	知識・理解	・シンガポールでは、厳罰主義によって社会秩序を維持する一方で、各民族に配慮した言語政策や祝祭日政策がとられていることを理解することができる。	ワークシート No. 2 - 7
評価 4	【スキル】 他者と共に社会の中で、自分の意見を表明し、他人の意見を聞き、意思決定し、実行するためのスキル	思考・判断	・他者とのかかわりを意識し、その中から共生策を考えることができる。	ワークシート No. 3 - 8
評価 5	【スキル】 自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキル	思考・判断	・自己の利益のみの追究は、他者との対立を生むばかりでなく、地域そのものの破壊へとつながることを考えることができる。	ワークシート No. 3 - 8

(4) 学習指導

ア 第1時限

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の場面
導入	愛知県に居住する外国人	・スライドを見てどこの国の民族衣装かを、愛知県の外国人登録国籍別人員の表の太字の中	・愛知県には様々な文化をもった外国人が住んでいることを理解させる。	

15分		<p>から選ぶ（ワークシートNo.1）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISにより「愛知県に100人以上が居住する国」の主題図を作成する。 ・主題図を参考にしながら，異文化の人々とどのようにして共生することができるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を通して愛知県には多数の国籍の人々が居住していることを理解させる。 ・前向きな姿勢で考えさせる。 	評価1
展 開	<p>多文化共生への各国の取組</p> <p>①オーストラリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1901年と2001年のオーストラリアの国勢調査を比較して，気付いたことをまとめる。 ・2001年の国勢調査からアジア系移民が増加した背景について理解する。 ・オーストラリアの放送局の社長の立場から住民にどのようなサービスを提供することができるかを考える（ワークシートNo.2）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者の増加と共に，出生国の変化についても読み取らせる。 ・かつてアジア系労働者を排除するために白豪主義という排他的な政策がとられていたが，第二次世界大戦後の労働力不足により，積極的に移民を受け入れるようになったことを理解させる。 ・スライドにより，オーストラリアでは多文化共生策としてテレビ放送も数多くの言語で行われていることを理解させる。 	評価2
30分	②シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見て，どのような民族が居住しているかを判断する（ワークシートNo.2）。 ・シンガポールの大統領の立場から，どのような言語政策，社会秩序政策，祝祭日政策をとるべきかを民族構成比率を参考にして考える（ワークシートNo.2）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールには，アラビア人，インド人，中国人が居住していることを理解させる。 ・言語政策として，共通語としての英語とそれぞれの民族の母国語との2言語の習得を義務付けるバイリンガル・ポリシーが採用されていることを理解させる。 ・スライドから，厳しい罰則により社会秩序を維持する一方で各民族に配慮した祝祭日が設けられていることを理解させる。 	評価3
まとめ 5分		<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生策には，様々な方法があることを確認する。 		

イ 第2時限

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の場面
導入 5分	ミーワ国の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーワ国の地域の概要とミーワ人、シッポン人及びジンモク人の特性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域と民族の違いがはっきりと分かるように説明する。 	
展 開 35分	<p>ミーワ国に異文化の人がやってきた</p> <p>①場面1</p> <p>②場面2</p> <p>③場面3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育問題について、それぞれの民族の立場からグループで話し合いを行う（ワークシートNo.3）。 ・グループで出した意見を基に、それぞれのグループの代表者により話し合いを行う。 ・話し合いの結果を参考にして、自分の考えを記述する（ワークシートNo.3）。 ・ミーワ祭りの開催について、それぞれの民族の立場からグループで話し合いを行う（ワークシートNo.3）。 ・グループで出した意見を基に、それぞれのグループの代表者により話し合いを行う。 ・話し合いの結果を参考にして、自分の考えを記述する（ワークシートNo.3）。 ・ミーワ山の開発が地域にどのような問題を引き起こすのかを考える（ワークシートNo.3）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各民族は、自分たちの文化・習慣・宗教をもっていることを理解させる。 ・一神教と無宗教の違いを理解させる。 ・1つの民族の考え方を通すことは、地域の生活を脅かしかねないことを理解させる。 	<p>評価4</p> <p>評価5</p>
まとめ 10分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の意味について考える。 ・今回の授業の感想を記述する（ワークシートNo.4）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人類はみな同じ地球人であるという立場に立って多文化共生を考えさせる。 	

4 成果と課題

(1) 愛知県に居住する外国人

異文化理解のきっかけを生徒につかませるために、愛知県内に100人以上が居住する国の中から、主だった国を10カ国選び、スライドに映し出された民族衣装がそれぞれどの国のものであるかを答えさせた。予想していたことだが、表1にあるように中国の正解率が高く、ほとんどの生徒が正解した。だが中国以外の国の民族衣装を当てることは非常に難しかったようで、比較的良好に知られた国であるフランスの民族衣装を当てたのは、わずか15.4%であった。このクイズにより、生徒はよく名前を聞く国であっても、文化について知らない部分があることに気付いた。

次に、GISを利用して愛知県内に100人以上が居住する国の主題図を作成させた(図1)。この作業を通して、生徒は、愛知県内には様々な国の人々が居住していることを理解し、その広がりを感じた。

このようなクイズや主題図の作成を通して、生徒は愛知県内に自分の知らない文化をもった外国人が多数居住しており、彼らとの共存は避けて通れないことを感じたのではないだろうか。

(2) オーストラリアの事例

オーストラリアには時代の変化と共に様々な国から移民が流入していることを理解させるために、1901年の国勢調査と2001年の国勢調査を比較させた。その結果、多くの生徒は、移民の数が増加したことを指摘するだけで、アジアからの移民の割合が増えていることを読み取ることができなかった。

そして、表を参考に自分をオーストラリアの放送局の社長であると想定して、オーストラリアの住民(世界各国からの移民を含む)に対してどのようなサービスを提供することができるかを考えさせた。その結果は、オーストラリアの公用語である英語で放送する、つまり、移民であるならば移住した国の文化に合わせるべきだという意見と、副音声で幾つもの言語を流す、又は字幕をつけて放送する、つまり、共生を図るべきという意見の二つに分かれた。強硬な意見がある一方で、多文化共生を気軽に論ずる意見もあり、この段階では多文化共生を他人事としてとらえている生徒が多かったように感じた。

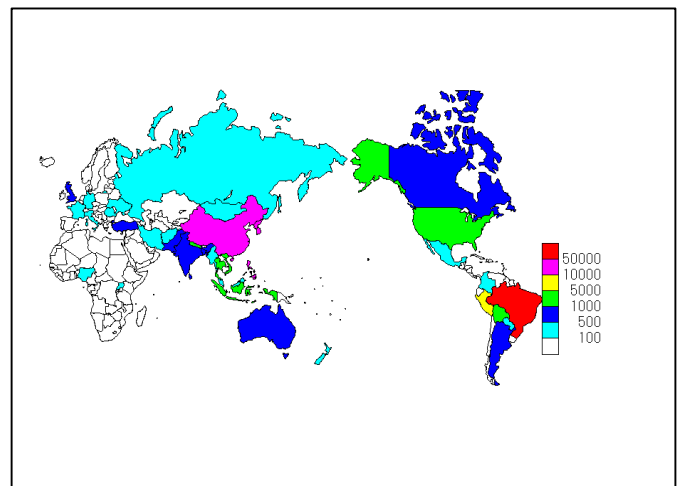
(3) シンガポールの事例

シンガポールが多民族国家であることを理解させるために、ブギス&アラブ・ストリートにあるサルタン・モスクのスライド、リトル・インディアにあるスリ・ヴィラマカリアマン寺院(ヒンドゥー教寺院)のスライド、チャイナタウンの旧正月の様子のスライドを見せた。そして、シンガポールの民族構成をスライドで示した上で、自分をシンガポールの大統領と想定して、どのような言語政策、社会秩序政策、祝祭日の設定を行うかを考えさせた。言語政策については、中国系が人口の約4分の

【表1 世界の民族衣装の正解率】

	国名	正解率(%)
①	トルコ	10.3
②	フランス	15.4
③	ペルー	12.8
④	カナダ	15.4
⑤	中国	97.4
⑥	ロシア	10.3
⑦	インド	46.1
⑧	アルゼンチン	38.5
⑨	ナイジェリア	10.3
⑩	ベトナム	7.7

【図1 GISで作成した主題図】



3を占めていることから、中国語に統一するという考えをもつ生徒が39人中12人、世界共通語の英語で統一するとした生徒が7人いた。これ以外に、新たなシンガポールの言語を作るという回答もあった。社会秩序政策については、中国系の人口の多さから中国系のルールに合わせるという生徒が多くいる中で、シンガポールの新しいルールをつくるとした生徒もいた。また、祝祭日の設定についても、大半の生徒が中国人の祝祭日に合わせるとしたが、中にはお互いの祝祭日を認めるとした者もいた。また、宗教にとらわれた祝祭日をなくすという回答もあった。シンガポールの事例に関する学習からは、少数派（マレー系やインド系）が多数派（中国系）に合わせるべきという意見が多数となる一方、民族の壁にとらわれないシンガポール人として生きていくという意見も少なからずあることがわかった。多文化共生について、より具体的な政策を提案する者も出始めた。

(4) ミーワ国での多文化共生

オーストラリアとシンガポールの事例学習を通して、多文化共生に対する意識がどのように高まったかを検証するために、架空のミーワ国に文化の異なるシッポン人とジンモク人が移住するとどうなるかを、それぞれの民族に合わせ、3つのグループに分けて考えさせた。このとき、ミーワ人が多数派となるように、シッポン人とジンモク人のグループより人数を多くした。そして、グループ内でそれぞれの場面にどのように対応するかを話し合わせ、その後、各民族の代表者による話合いの場を持ち、最後に、話合いの感想を書かせた。

ア 場面①

ミーワ人の立場	シッポン人、ジンモク人にミーワ語を覚えてもらう。給食では牛肉以外のどの民族でも食べることができる豚肉を出す。
シッポン人の立場	最初はそれぞれの民族別にクラスを分けて授業を行い、ミーワについて学んで、最終的に、クラスを混ぜる。
ジンモク人の立場	言葉が通じないから、授業時などは別々の教室に分ける。給食ではなく、各自が弁当を持参する。新しいルールをつくる。

3者の話合いについての感想

- ・シッポン人の意見のようにそれぞれクラスを分け、最終的に一緒に授業を受けるのがよいと思った（ミーワ人）。
- ・ジンモク人の言った新しいルールをつくれば、互いにより生活ができるなど知らされました（シッポン人）。
- ・民族ごとにクラスに分けるのはいい考えだと思う。でも、ジンモク人やシッポン人に、ミーワ人の文化を教えるのではなく、ミーワ人にもジンモク人やシッポン人の文化を教えて、お互いに理解し合うことが大切だと思う（ジンモク人）。

イ 場面②

ミーワ人の立場	ミーワ国に来ているのだから、ミーワの伝統に従ってほしい。
シッポン人の立場	自分たちは宗教とかないし、しかもミーワ国に住まわせてもらっているから、ミーワ国に合わせてもいい。
ジンモク人の立場	3日間に分けて、それぞれ自分たちの民族でやりたいことを1日ずつやる。

3者の話合いについての感想

- ・シッポン人は無宗教で社交性が強く、祭りに参加する意志もあるようなので、ジンモク人の参加が問題となると思う（ミーワ人）。
- ・ジンモク人の3日間に分けて祭りをやるという意見はよかった（シッポン人）。
- ・各民族の宗教や習慣、言語の相違があっても極力国の行事には参加する。さらに、すべての民族が一度に集まる場なので、結束を固めるのにはいい機会だと思う（ジンモク人）。

ウ 場面③

今まで手つかずの状態であったミーワ山に、それぞれの民族の都合から開発の手が入ろうとしている。E S Dの観点に立ち、それぞれの民族が自分の都合を主張して、無秩序な開発を行えば、ミーワ国の大切な水源であるミーワ山が破壊され、飲料水、工業用水、農業用水が得られにくくなり、生活が脅かされることに気付かせる目的で場面を設定した。生徒の多くは、「自分のことばかり考えていると戦争になる」とか「土地の取り合いが起こり、ミーワ国がばらばらになる」といった3民族の対立について答えていた。一方、ミーワ国の地図をよく理解している者は、「山に木がなくなって、雨が降っても水が溜まらなくなる」や「山の環境が破壊されて、ミーワ国の川などが汚染される」といった自然環境の悪化を指摘していた。

(5) 外国人との共生に関する意識の変化

オーストラリアやシンガポールの事例、及び架空のミーワ国を題材とした学習を通して、生徒の多文化共生に関する意識がどのように変化したかを、以下のようにまとめてみた。

【表2 多文化共生に関する意識の変化】

生徒	授業前（ワークシートNo.1－3）	授業後（ワークシートNo.4－9）
A	外国人は日本人と文化や生き方が違うと思うので、外国人の文化を否定するのではなく、少しずつ日本での文化や生き方を教えていけばいいと思う。	他の文化をもった人々に自分たちの文化を分かってもらおうと同時に、他の文化をもつ人々の文化も理解していかなければならないと思った。
B	町内会の行事に積極的に参加させたり、一緒に食事会を開いたり、文化交流をする。地域や日本のルールは厳しくしっかり守ってもらおう。	多文化共生はとても難しく大変だけど、これからはもっとそれが必要になってくるので、一つ一つの問題を解決していくのが大事だと思う。
C	最初から差別をしたりせずに、自分からかかわっていく。その人の国の文化と日本の文化を考えながら、日本での生活を気遣ったり、手助けしてあげる。	たくさんの異民族と一緒に暮らすのはすごく難しいと思うけど、それぞれの主張を少しずつ取り込んでいけばどうにかなると思う。
D	普段から簡単なあいさつをするようにする。その国の言葉の本を1冊買って、覚える。ちょっとずつ日本語を教えてあげたりして、まずは、言葉の壁をなくす。	難しいと思った。言葉や習慣なら頑張ればなんとかなりそうだけど、宗教はどうしようもない。
E	外国人と共存するならば、話すことはできなくても身振り手振りで話をしたりする。また、少しずつ外国人の国の単語を覚え、少しでも話をしていきたい。でも、なるべく外国人の人とは会いたくない。	外国人との共生は難しい事だけど、他の民族の言語や習慣・宗教を理解すれば、他の民族との共生はできると思う。

この表からも分かるように、外国人との共生はたやすく実現することができると思っていた生徒も、授業を進めるにつれて、多文化共生の実現は簡単ではないが、小さな問題から一つ一つ解決していく必要があるとの思いを強めたようだ。

5 まとめ

授業の感想からは、「自分の主張にこだわらず、他人の主張を認めることを考えていこうと思う」、「自分たちことばかりではなく、相手の事も考えて行動する」などのようにシティズンシップを発揮するために必要な「異質な他者に対する敬意と寛容」といった意識が、多くの生徒に芽生えていることが分かった。また、E S Dが目指す持続可能な社会の実現について言及した生徒も多かった。その一方で、「他の文化もいいけど、あまり振り回されたくない」「あまりかかわらないようにする」といった多文化共生に対して消極的な意識のままの生徒や、「変わりなく過ごす」というように関心を示

さない生徒も実際にはいた。今や国際化の進展は急速であり、環境問題を地球規模で考えなければならぬ時代である。シティズンシップ教育を通して、一人一人の多文化共生に対する意識を高めることをはじめとして、生徒の意識や行動の変革を促していくことが我々教師の責務であると考えます。

【参考文献】

- 大友秀明・桐谷正信・西尾真治・宮澤好春 「市民社会組織との協働によるシティズンシップ教育の実践」 2007年 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要No.6
- 大友秀明・大久保正弘・原口和徳 「シティズンシップ教育の意義と可能性」
2008年 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要No.7
- 桐谷正信・西尾真治・宮澤好春 「マニフェスト型思考を用いたシティズンシップ教育の実践」
2008年 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要No.7
- 山口幸男 『新・シミュレーション教材の開発と実践』 1999年 古今書院
- 鈴木崇弘ほか 『シチズン・リテラシー』 2005年 教育出版
- 澁澤文隆・矢島舜孳編 『心を揺さぶる地理教材2』 2007年 古今書院
- 澁澤文隆・矢島舜孳編 『心を揺さぶる地理教材3』 2008年 古今書院
- 藤原孝章 『ひょうたん島問題』 2008年 明石書店

資料

ワークシート (No.1)

年 組 番 氏名

1. 次の表は、愛知県に居住する外国人登録国籍別人員（100人以上）を示したものである。民族衣装のスライドを見て、どこの国の民族衣装かを、表中の太字の中から選んでみよう。

国 名	人 数
ブラジル	76 297
韓国・朝鮮	42 922
中国	35 522
フィリピン	21 844
ペルー	7 957
ベトナム	3 273
インドネシア	2 522
アメリカ合衆国	2 272
タイ	1 422
ネパール	1 092
ボリビア	1 017
インド	870
スリランカ	831
パキスタン	829
カナダ	783
イギリス	762
バングラデシュ	672
オーストラリア	664
トルコ	604
アルゼンチン	504
マレーシア	435
ミャンマー	331
ロシア	324
コロンビア	300
パラグアイ	293
フランス	291
ルーマニア	265
イラン	263
ドイツ	243
モンゴル	225
ニュージーランド	217
ナイジェリア	145
イタリア	145
メキシコ	140
ウガンダ	132
ウクライナ	115
アフガニスタン	103

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩

2. GISソフトを使って、愛知県に100人以上が居住している国（登録者のみ）の主題図を作成しよう。
3. 主題図を参考にしながら、外国人とどのようにしたら共生（ともに所を同じくして生活すること）することができるかを考えてみよう。

資料

ワークシート (No.2)

年 組 番 氏名

4. オーストラリアの1901年度国勢調査と2001年度国勢調査を比較して、分かったことをまとめよう。

1901年度国勢調査			2001年度国勢調査		
出生国	人数	%	出生国	人数	%
イギリス	495,074	13.1	イギリス	1,036,437	5.5
アイルランド	184,085	4.9	ニュージーランド	355,684	1.9
ドイツ	38,352	1.0	イタリア	218,754	1.2
中国	29,907	0.8	ベトナム	154,831	0.8
ニュージーランド	25,788	0.7	中国	142,717	0.8
スウェーデン/ノルウェー	9,863	0.3	ギリシア	116,531	0.6
インド	7,637	0.2	ドイツ	108,238	0.6
アメリカ	7,448	0.2	フィリピン	103,989	0.6
デンマーク	6,281	0.2	インド	95,456	0.5
イタリア	5,678	0.2	オランダ	83,249	0.4
その他	47,463	1.3	その他	1,690,301	9.0
外国生まれ総計	857,576	22.7	外国生まれ総計	4,106,187	21.9
総人口	3,773,801	100.0	総人口	18,769,791	100.0

5. あなたは、オーストラリアのある放送局の社長である。オーストラリアの住民に配慮するためには、どのような放送をしたらよいか、4の表を参考にして考えてみよう。

6. スライドを見て、シンガポールの光景から分かることをまとめてみよう。

①	
②	
③	

7. あなたは、シンガポールの大統領である。シンガポールに居住する中国系、マレー系、インド系の人たちが共生するためには、どのような政策をとるべきか。以下の項目ごとに考えてみよう。

(1) 言語政策

(2) 社会秩序政策

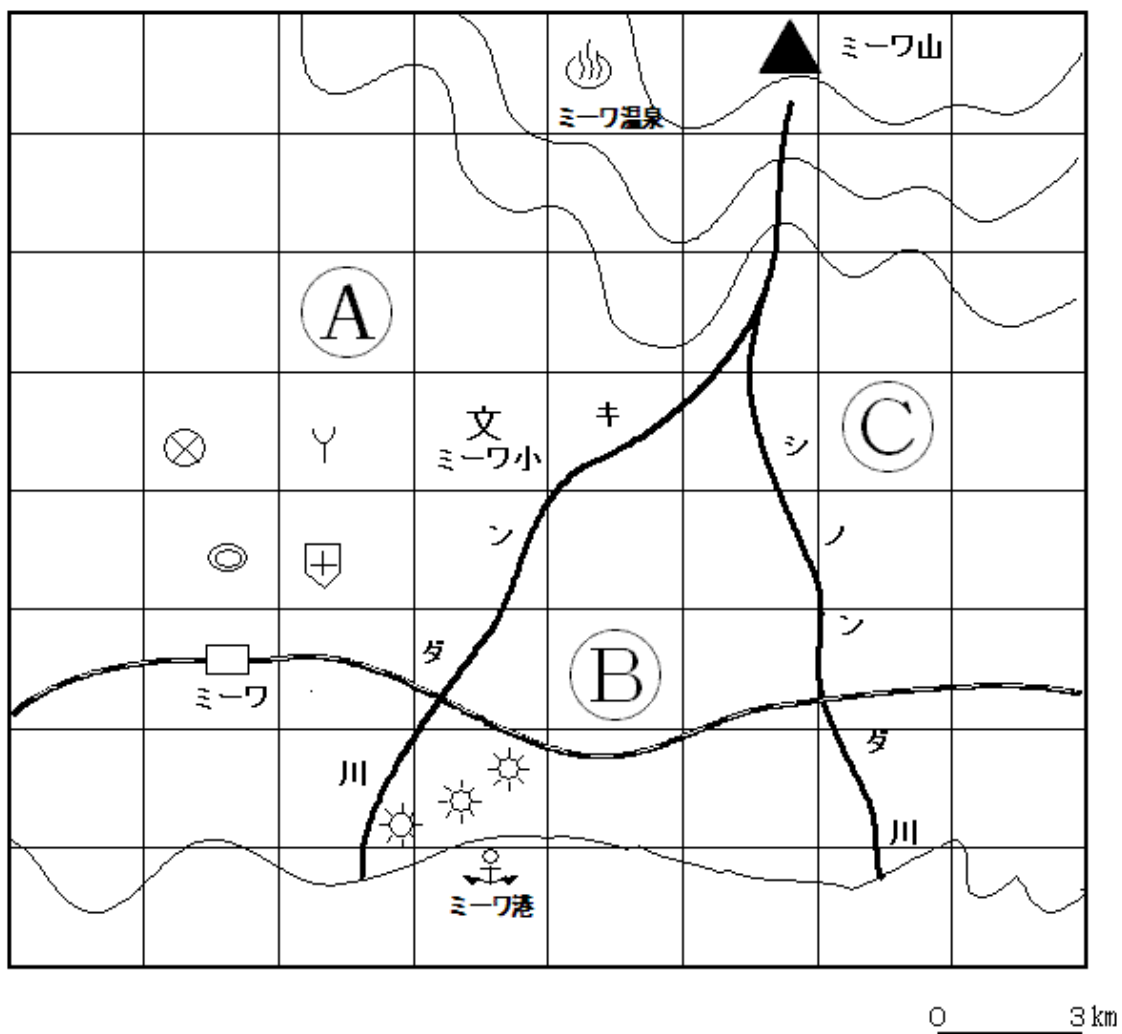
(3) 祝祭日政策

資料

ワークシート (No.3)

年 組 番 氏名

8. 下の地図を見ながら、それぞれの場面でどのような対応をするべきかグループで議論してみよう。



・地域の概要

- ・ ①地域 (キンダ川より西側) は、ミーワ山の伏流水に恵まれ、ミーワ人のほとんどが居住し、ミーワ国の政治・経済・文化の中心地である。
- ・ ②地域 (キンダ川とシンダ川のはさまれた地域) は、キンダ川を水源に工業地域を形成し、ミーワ港はミーワ国の玄関口となっている。
- ・ ③地域 (シンダ川より東側) は、ミーワ国の過疎地で、交通の便は悪いが、肥沃な平野が広がっている。

・民族の特性

- ・ ミーワ人…ミーワ語を話し、ミーワ山を古くから崇拝する一神教であるミーワ教を信仰している。年に1度千年以上続くミーワ祭りを開催している。ミーワ教では牛を神の使いとし、牛肉は食べない。
- ・ シッポン人…シッポン語を話し、無宗教で社交性が強い。古くから牛肉は彼らの大切なタンパク源であった。
- ・ ジンモク人…ジンモク語を話し、自分たちの伝統を重んじ、一神教であるジンモク教を通じて民族の結束が硬い。また、食事の前にはジンモク教の神へのお祈りを必ずする。

【ミーワ国への移住】

- ・㊟地域にシッポン人が移住し、ミーワ工業地帯で働くようになった。
- ・㊞地域にジンモク人が移住し、農地を開発し、シノンダ川を水源として農業を営むようになった。

【場面1】

ミーワ小学校に年々シッポン人やジンモク人の入学者が増加し、言葉・習慣・宗教の違いから、言葉の壁のために授業が成立しないとか、宗教上の理由から出された給食が食べられないなどの問題が発生するようになった。この問題の解決策について、それぞれの立場から考えてみよう。

〔 　　　　　　　　　　　の立場〕

- ・3者の代表による話し合いの結果を聞いてどう思ったか。

【場面2】

今年も全住民をあげて千年以上続くミーワ祭りを開催することになった。しかし、習慣・宗教の違いから開催にあたって、「祭りが出る、出ない」といった問題が発生するようになった。この問題の解決策について、それぞれの立場から考えてみよう。

〔 　　　　　　　　　　　の立場〕

- ・3者の代表による話し合いの結果を聞いてどう思ったか。

【場面3】

規制緩和により、それまで開発が制限されてきたミーワ国のシンボルであるミーワ山開発が認められるようになった。ミーワ人は、温泉ブームにより、さびれたミーワ温泉を中心としたリゾート開発を進めようと考えている。シッポン人は、㊟地域の人口増加による土地不足を解消するためにミーワ山周辺の住宅開発を進めようと考えている。ジンモク人は、農業収入を上げるためにミーワ山周辺の農地開発を進めようと考えている。このまま、それぞれの民族が開発を進めると、何が起こると予想されるか？

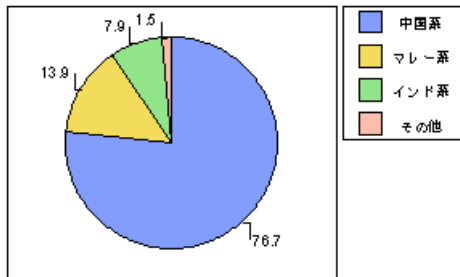
9. いままでの学習を通して、外国人との共生をどう思ったか。

10. 今回の授業の感想を踏まえて、今後どのように生きようと思ったか。

SBSの番組表

Wed 10th Oct 2007
 MORNING afternoon | evening
 05:00 am WEATHERWATCH & Music
 A continuously up dated weather report, bringing viewers the latest weather conditions from around Australia, and featuring a selection of quality music.
 05:25 am JAPANESE NEWS
 News via satellite from NHK Tokyo, in **Japanese**, no subtitles.
 06:00 am Hong Kong News
 News via satellite from TVB Hong Kong, in **Cantonese**, no subtitles.
 06:20 am CHINESE NEWS
 News via satellite from CCTV Beijing, in **Mandarin**, no subtitles.
 06:50 am FILIPINO NEWS
 Weekly news bulletin from ABS-CBN Manila, in **Tagalog**, no subtitles.
 07:25 am ITALIAN NEWS
 News via satellite from RAI Rome, in **Italian**, no subtitles.
 08:00 am GERMAN NEWS
 News via satellite from DW Berlin, in **German**, no subtitles.
 08:30 am SPANISH NEWS
 News via satellite from RTVE Madrid, in **Spanish**, no subtitles.
 09:20 am FRENCH NEWS
 News via satellite from FR2 Paris, in **French**, no subtitles.
 09:55 am RUSSIAN NEWS
 News via satellite from NTV Moscow, in **Russian**, no subtitles.
 10:30 am GREEK NEWS
 News via satellite from ERT Athens, in **Greek**, no subtitles.
 11:30 am ARABIC NEWS
 News via satellite from DRTV Dubai, in **Arabic**, no subtitles.

シンガポールの民族割合



シンガポールの祝祭日

1月 1日	ニューイヤーズデー	元旦
1月 26日	チャイニーズニューイヤー	華人社会のお正月
1月 27日	チャイニーズニューイヤー	
4月 10日	グッドフライデー	キリスト教の復活祭を祝う週末の金曜日
5月 1日	レイバーデー	労働者の日
5月 9日	ベッサクデー	お釈迦様の誕生日を祝う仏教の祭日
8月 9日	ナショナルデー	シンガポールの独立記念日
9月 20日	ハラヤブアサ	イスラム教の断食明けを祝う祭日
10月 17日	ディーババリ	ヒンドゥー教の伝説にもとづいた光の祭典
11月 27日	ハラヤハジ	メッカ巡礼者を祝うイスラム教の祝日
12月 25日	クリスマス	キリスト教の祭日

シンガポールの厳しい罰則

- ・タン・ツバを吐いたら罰金
- ・ゴミのポイ捨てをしたら罰金
- ・花鉢の底敷に水をためたら罰金
- ・電車内、駅構内で飲食・喫煙したら罰金
- ・チューインガムを売買したら罰金
- ・公共機関へのドリアンフルーツの持込禁止
- ・公衆トイレの使用後、水を流さなかったら罰金



ミーワ国に異文化の人がやってきた



